

さん か しゃ  
参加者  
ぼ しゅう  
募集

# やさ日×ミュージアム

第21回おokayama県民文化祭 これがOKAYAMA！プログラム

やさしい日本語で アートを 楽しむ ワークショップ

でんとう こうげい

## 伝統工芸で つながる

## あなたと私の 部屋



あなたは「<sup>でんとうこうげい</sup>伝統工芸」を <sup>し</sup>知っていますか？  
「<sup>でんとうこうげい</sup>伝統工芸」は、昔から <sup>むかし</sup>変わらない <sup>か</sup>方法で <sup>ほうほう</sup>ものをつくることです。  
はじめに <sup>はじめ</sup>ものを <sup>み</sup>みます。あなたの <sup>へや</sup>部屋に <sup>お</sup>置きたい <sup>お</sup>ものを  
<sup>みつ</sup>つけます。そして <sup>みな</sup>みんなで <sup>はなし</sup>話を <sup>し</sup>しましょう。

いつ **2023年**  
**11/25** **土** **13:00 ~ 14:30**

どこで

<sup>びじゅつかん</sup>美術館の <sup>てんじしつ</sup>展示室

(12:45に <sup>びじゅつかん</sup>美術館に <sup>き</sup>来て <sup>ください</sup>)

だれが

<sup>りゅうがくせい</sup>留学生、<sup>がいこく</sup>外国に<sup>る</sup>ルーツを持つ <sup>18</sup>歳以上の人、

<sup>ぷろぐらむ</sup>プログラムに興味のある <sup>18</sup>歳以上の <sup>だれ</sup>誰でも

何人まで

**12人** <sup>にん</sup>申込が <sup>もうしこみ</sup>必要です (参加できる人を <sup>くじ</sup>くじで <sup>えら</sup>選びます)

参加するためのお金

**お金が いります** <sup>ちけつとだい</sup>チケット代 (展示を <sup>みる</sup>みる <sup>かね</sup>お金) です。

<sup>りゅうがくせい</sup>留学生は <sup>かね</sup>お金は <sup>いり</sup>いません。 <sup>ほか</sup>他の <sup>だいがくせい</sup>大学生は <sup>400</sup>400円、

<sup>いっぱん</sup>一般は <sup>700</sup>700円、 <sup>65</sup>65歳以上の人は <sup>500</sup>500円 <sup>かね</sup>お金が <sup>いり</sup>います。



ワークショップの先生



たかお ひろみ さん  
高尾 戸美 さん

\*あなたの <sup>ふるさと</sup>故郷の <sup>いえ</sup>家の <sup>へや</sup>部屋の中の <sup>な</sup>写真 <sup>しゃしん</sup>が あなたの <sup>へや</sup>部屋の <sup>しゃしん</sup>写真を <sup>つか</sup>使います。

「やさしい日本語」は 日本に住む 外国人など 日本語を 学んでいる 人にも わかりやすい 日本語です。

<sup>もうしこみほうほう</sup>申込方法は **うら**を **み**てください

した  
下の ①～⑤を あなたの E-Mail で  
kenbi-entry@pref.okayama.jp に <sup>おく</sup>送って ください

## メールに 書くこと

\*メールの <sup>めー</sup>タイトルは 「やさしい<sup>にほんご</sup>日本語」 と <sup>か</sup>書いてください

\*本文に ①～⑤の <sup>じょうほう</sup>情報を <sup>か</sup>書いてください

①参加する人の <sup>さんか</sup>名前と <sup>ねんれい</sup>年齢 (何歳)

②電話番号 (美術館が <sup>でんわ</sup>困ったら 電話をします)

③外国に <sup>がいく</sup>ルーツは <sup>ある</sup>ありますか? <sup>ひとつ</sup>一つ <sup>えら</sup>選んで <sup>ある</sup>アルファベットを <sup>か</sup>書いて ください。

a. ある b. ない

④あなたは <sup>どれ</sup>どれですか? <sup>ひとつ</sup>一つ <sup>えら</sup>選んで <sup>ある</sup>アルファベットを <sup>か</sup>書いて ください

a. 留学生 <sup>りゅうがくせい</sup> b. 大学生 <sup>だいがくせい</sup> c. 一般 <sup>いっぱん</sup> d. その他 ( <sup>ほか</sup> )

⑤あなたが <sup>いつ</sup>いつも <sup>つか</sup>使う <sup>ことば</sup>言葉を <sup>か</sup>書いて ください (いくつかでも いいです)

※例) 日本語 <sup>にほんご</sup> 英語 (English) <sup>えいご</sup> 中国語 <sup>ちゅうごくご</sup> 韓国語 <sup>かんこくご</sup> ベトナム語 <sup>べとなむご</sup> など



もうしこみめーる  
申込 メール

## メールを送るところ

kenbi-entry@pref.okayama.jp

\*わからないことが あったら <sup>びじゅつかん</sup>美術館に <sup>めーる</sup>メールか、<sup>でんわ</sup>電話を してください

<sup>たんとう</sup>担当している人は、「岡本さん」です



わからないことを  
めーる  
きく メール

## 大切なこと

\* **10月29日 (日)** までに <sup>もうしこみ</sup>申込を してください

参加できる人数は、12人です。抽選します (くじで <sup>えら</sup>選びます)

くじの <sup>けっか</sup>結果は 10月31日 (火) に <sup>びじゅつかん</sup>美術館から <sup>めーる</sup>メールします

\*ワークショップでは <sup>きろく</sup>記録の <sup>しゃしん</sup>写真を <sup>と</sup>撮ります。

<sup>しゃしん</sup>写真を <sup>と</sup>撮って <sup>ほしくない</sup>ほしくない人は <sup>スタッフ</sup>スタッフの人に <sup>い</sup>言ってください

\*あなたの <sup>じょうほう</sup>情報は、今回の <sup>ワークショップ</sup>ワークショップに <sup>ひつようとき</sup>必要な時だけ <sup>つか</sup>使います。その他では <sup>つか</sup>使いません。

\*1 第69回日本伝統工芸展岡山展会場記録画像より (岡山県立美術館)

\*2 このワークショップは 令和5年度 文化庁 Innovate Museum 事業 です。

